



# 特別勘定マンスリーレポート

## 特別勘定の現況

ユニット・リンク(有期型)  
ユニット・リンク保険(有期型)  
リバティ(終身型)/リバティ(有期型)  
変額保険(終身型)/変額保険(有期型)

# 2021年4月

### <お知らせ>

・グローバル・バランス型特別勘定の運用収益の向上、また運用報酬の引下げを目的として、利用しておりました投資信託「RIC Russell Investments Global Bond Fund Class A」から「Architas World ex-Japan Passive Bond Fund Class J」への変更を行いました。(2021年3月中)

グローバル・バランス型特別勘定の運用費用については、これまでの平均0.9404%から0.7892%へ変更となります。

\*変更前の運用費用は2020年12月の、変更後の運用費用は2021年3月のターゲット比率で各投資信託を保有したと仮定して計算した平均運用費用です。

・日本株式型特別勘定の運用収益の向上、また運用報酬の引下げを目的として、利用しておりました投資信託「ラッセル・インベストメント日本株式ファンドI-3(適格機関投資家限定)」から「アムンディ・ターゲット・ジャパン・ファンド(適格機関投資家専用)」への変更を行います。(2021年4月～5月中)

運用会社のArchitas Multi-Manager Europe Limitedはアクサ・グループに属し、優れたマネージャーを選定、委託することにより収益獲得を目指します。

日本株式型特別勘定の運用費用については、これまでの平均0.9183%から0.9081%へ変更となります。

\*変更前の運用費用は2021年3月の、変更後の運用費用は2021年5月のターゲット比率で各投資信託を保有したと仮定して計算した平均運用費用です。

当資料は、変額保険(終身型および有期型)、ユニット・リンク保険(有期型)における各特別勘定のユニット・プライスの推移を示したものです。なお、当資料中の運用実績に関するグラフ及び数値は、あくまで過去の実績であり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。

(注)変額保険(終身型)、変額保険(有期型)、ユニット・リンク保険(有期型)は現在販売していません。

## 『ご留意いただきたい事項』

### ■当資料の目的

当資料は、アクサ生命が「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」の特別勘定について運用状況などを報告する資料です。特別勘定の主な投資対象である投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

### ■生命保険です

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者様が直接投資信託を保有しているわけではありません。

### ■運用実績に応じて変動します

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は、保険金額や積立金額等が特別勘定資産の運用実績に基づいて変動(増減)する生命保険で、保険期間中保険金額が一定の生命保険である定額保険とは異なります。

### ■元本割れリスク、最低保証について

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」は、特別勘定の運用実績に応じて、積立金、死亡・高度障害保険金、解約払戻金が増減(増減)する保険です。積立金、解約払戻金、満期保険金には最低保証はありませんので、払い込まれた保険料総額を下回ることもあります。ただし、死亡・高度障害保険金は基本保険金額と同額が保証されます。

### ■特別勘定資産と投資信託の運用実績について

特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり、投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用を控除していることなどによるものです。

### ■自己責任原則

特別勘定による資産運用は、経済情勢や運用のいかんによっては高い収益を期待できますが、一方で、株価の下落や金利や為替の変動による運用リスクをご契約者様ご自身が負うこととなります。

### ■ユニットプライスとは

ユニットプライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

### ■ご検討・ご契約に際して

「変額保険(終身型)」(注)、「変額保険(有期型)」(注)、「ユニット・リンク保険(有期型)」(注)および「積立ユニット・リンク保険特約」の詳細については、当該商品のパンフレット、ご契約のしおり・約款、特別勘定のしおり等をご覧ください。なお、ご契約の保障内容については、すべて保険証券に記載されておりになりますのでお確かめください。

### ■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

### ■特別勘定は、追加されることがあります

特別勘定は、追加されることがあります。また、特別勘定の運用方針および運用対象は将来変更されることがあります。

### ■ご契約にかかわる諸費用

この保険にかかる費用には、ご契約の締結・維持、死亡保障等にかかる費用および特別勘定の運用にかかる費用があります。お払込保険料からこれらの費用を差し引き、残りを運用対象額として特別勘定に繰り入れます。したがって、お払込保険料の全額が特別勘定で運用されるものではありません。

これらの費用は、性別・契約年齢・保険料払込期間・保険料払込方法等によって異なり、金額や割合を表示することができませんのでご了承ください。

これらの費用は、ご契約後、特別勘定資産からも定期的に控除されます。

(注)「変額保険(終身型)」、「変額保険(有期型)」および「ユニット・リンク保険(有期型)」は現在販売しておりません。

# 1.特別勘定の運用概況

## ・特別勘定の運用方針

(特別勘定名)	(運用方針)
日本株式型	主に日本企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 東証株価指数(TOPIX <sup>※1</sup> )を上回る投資成果を目指します。
日本株式 積極運用型	主に日本の成長企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。
米国株式型	主に米国企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 S&P500指数 <sup>※2</sup> を上回る投資成果を目指します。
欧州株式型	主に欧州企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 MSCIヨーロッパ指数 <sup>※3</sup> を上回る投資成果を目指します。
世界株式型 (為替ヘッジなし)	主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 MSCI KOKUSAIインデックス <sup>※4</sup> を上回る投資成果を目指します。
世界株式型 (為替ヘッジあり)	主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジを行います。 MSCI KOKUSAIインデックス(円ヘッジ)を上回る投資成果を目指します。
世界債券型	主に内外の公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 基本資産配分は国内公社債50%、海外公社債50%とします。 海外公社債の投資部分に対し、原則として、為替ヘッジは行いません。 NOMURA-BPI(総合) <sup>※5</sup> 50%、FTSE世界国債インデックス(除く日本) <sup>※6</sup> 50%で加重平均した 複合指数を上回る投資成果を目指します。
金融市場型*	主に国内の公社債および短期金融商品に分散投資することによって、中長期的に安定した投資成果を目指します。 NOMURA-BPI(総合短期) <sup>※7</sup> を上回る投資成果を目指します。
グローバル・バランス型	主に世界各国の株式および公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 基本資産配分は国内外株式50%、国内外公社債50%とします。 基本的に為替ヘッジは行いません。ただし、市況動向等を勘案して、為替ヘッジを行うことがあります。 MSCI WORLDインデックス <sup>※8</sup> 50%、FTSE世界国債インデックス <sup>※9</sup> 50%で加重平均した 複合指数を上回る投資成果を目指します。

※1 東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部の時価総額の動きをあらわす指数で、東京証券取引所が算出、公表を行っています。

※2 S&P500指数とは、スタンダード・アンド・プアーズ社が提供する米国株式市場の主要な500銘柄を対象に時価総額加重方式で計算した株価指数です。

※3 MSCIヨーロッパ指数とは、MSCIインクが提供する欧州株式を包括的に表した指数です。

※4 MSCI KOKUSAIインデックスとは、MSCIインクが提供する指数で、日本を除く主要各国の株式を包括的に表した指数です。

※5 NOMURA-BPI総合(NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合)は野村證券株式会社が公表する、わが国の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数です。

※6 FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※7 NOMURA-BPI総合短期は、残存期間1年~3年の短期の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数です。

※8 MSCI WORLDインデックスとは、MSCIインクが提供する指数で、日本を含む主要各国の株式を包括的に表した指数です。

※9 FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

\*「金融市場型」は株価、債券価格、為替等の変動の影響を受ける可能性が低いことを想定した特別勘定です。ただし、低金利環境下(マイナス金利を含む)では、「金融市場型」の積立金の増加が期待できないだけでなく、諸費用の控除等により積立金が減少することもありますのでご注意ください。

## ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

## 2.運用環境 [2021年4月]

### 【日本株式型】【日本株式積極運用型】

国内株式市場は、TOPIX(配当込み)で-2.84%となりました。  
前半は、国内の新型コロナウイルス感染再拡大などが重しとなり、横ばいで推移しました。  
後半は、国内の新型コロナウイルス感染再拡大による大阪府と東京都における緊急事態宣言再発出への懸念などを受けて下落しました。  
日本の小型株式市場は下落しました。

### 【米国株式型】【欧州株式型】【世界株式型(為替ヘッジなし)】【世界株式型(為替ヘッジあり)】

海外株式市場は、MSCI KOKUSAI(現地通貨ベース)で+4.64%となりました。  
米国株式市場は、MSCI US(現地通貨ベース)で+5.44%となりました。  
前半は、良好な米経済指標や新型コロナウイルス向けワクチン普及による経済正常化期待などを受けて上昇しました。  
後半は、予想を上回る企業決算の発表や、米長期金利の安定、米経済指標の良好な結果などがあったものの、バイデン大統領がキャピタルゲイン課税の税率引き上げを提案すると報じられたことなどが重しとなり、横ばいで推移しました。前月末比では、米国株式市場は上昇しました。

欧州株式市場は、MSCI Europe(現地通貨ベース)で+2.53%となりました。  
上半は、米国株高につられた動きなどを背景に上昇しました。中旬は、欧州自動車大手企業の好決算などを受けて一時上昇する場面もありましたが、その後は欧州長期金利の上昇や、米国でたばこ規制強化が検討されているとの報道を受け、関連銘柄が売られたことを受けて下落しました。  
下半は、欧州長期金利の上昇などが重しとなり、横ばいで推移しました。  
前月末比では、欧州株式市場は上昇しました。

新興国株式市場は上昇しました。先進国リート市場も上昇しました。

### 【金融市場型】

国内債券市場は、NOMURA-BPI(総合)で+0.19%となりました。  
前半は、日銀が4月の国債買い入れを減額する方針を示したことなどから金利は上昇(価格は下落)して始まりましたが、その後は国債入札の順調な結果や、米長期金利の低下などを受けて金利は低下(価格は上昇)に転じました。  
後半に入っても米長期金利の低下や、国内の新型コロナウイルス感染再拡大による大阪府と東京都における緊急事態宣言再発出への懸念などを受けて金利は低下しましたが、月末にかけては米長期金利の上昇などを受けて金利は上昇しました。

### 【世界債券型】

世界債券市場は価格はほぼ横ばいでした。  
米国債券市場では、前半は、早期金融引き締め観測を背景とした長期金利の上昇は行き過ぎとの見方が広まったことや、順調な国債入札、一部の米製薬大手の新型コロナウイルス向けワクチンに対して当局が接種の中断を勧告したことによる経済活動再開遅延への懸念などを受けて金利は低下(価格は上昇)しました。後半に入っても世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の懸念などを受けて金利は低下しましたが、月末にかけては米景気回復期待などを背景に金利は上昇(価格は下落)に転じました。前月末比では、金利は低下しました。  
米国ハイ・イールド債券市場は価格が上昇しました。  
欧州債券市場では、前半は、イタリア政府による追加借り入れ計画が嫌気されたことなどを受けて金利は上昇しました。  
後半は、ドイツの緑の党が連立を組んで政権を奪取する可能性が浮上り財政支出が拡大するとの思惑が広がったことや、米大型経済対策案の発表などを受けて金利は上昇しました。

### 【グローバル・バランス型】

世界株式市場は、MSCI WORLD(現地通貨ベース)で+4.09%となりました。世界債券市場は価格はほぼ横ばいでした。  
米国株式市場は、MSCI US(現地通貨ベース)で+5.44%となりました。  
前半は、良好な米経済指標や新型コロナウイルス向けワクチン普及による経済正常化期待などを受けて上昇しました。  
後半は、予想を上回る企業決算の発表や、米長期金利の安定、米経済指標の良好な結果などがあったものの、バイデン大統領がキャピタルゲイン課税の税率引き上げを提案すると報じられたことなどが重しとなり、横ばいで推移しました。前月末比では、米国株式市場は上昇しました。  
欧州株式市場は、MSCI Europe(現地通貨ベース)で+2.53%となりました。  
上半は、米国株高につられた動きなどを背景に上昇しました。中旬は、欧州自動車大手企業の好決算などを受けて一時上昇する場面もありましたが、その後は欧州長期金利の上昇や、米国でたばこ規制強化が検討されているとの報道を受け、関連銘柄が売られたことを受けて下落しました。  
下半は、欧州長期金利の上昇などが重しとなり、横ばいで推移しました。  
前月末比では、欧州株式市場は上昇しました。  
新興国株式市場は上昇しました。先進国リート市場も上昇しました。

米国債券市場では、前半は、早期金融引き締め観測を背景とした長期金利の上昇は行き過ぎとの見方が広まったことや、順調な国債入札、一部の米製薬大手の新型コロナウイルス向けワクチンに対して当局が接種の中断を勧告したことによる経済活動再開遅延への懸念などを受けて金利は低下(価格は上昇)しました。後半に入っても世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の懸念などを受けて金利は低下しましたが、月末にかけては米景気回復期待などを背景に金利は上昇(価格は下落)に転じました。前月末比では、金利は低下しました。  
米国ハイ・イールド債券市場は価格が上昇しました。  
欧州債券市場では、前半は、イタリア政府による追加借り入れ計画が嫌気されたことなどを受けて金利は上昇しました。  
後半は、ドイツの緑の党が連立を組んで政権を奪取する可能性が浮上り財政支出が拡大するとの思惑が広がったことや、米大型経済対策案の発表などを受けて金利は上昇しました。

### ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■ 将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

### 3.特別勘定の運用状況 [2021年4月]

#### ・特別勘定のユニット・プライス騰落率一覧

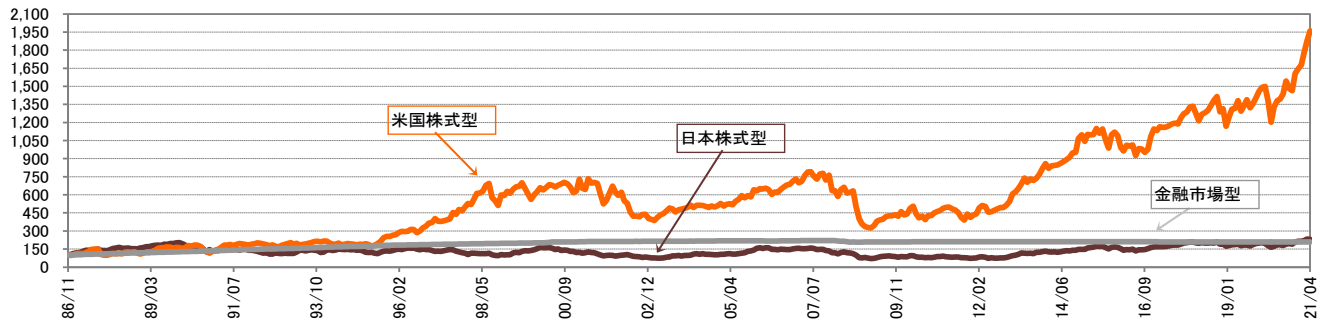
特別勘定名	運用開始日	ユニット・プライス	騰落率						
			1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
日本株式型	1986年12月1日	229.80011536	△1.23%	7.01%	20.29%	33.21%	12.87%	59.33%	129.80%
日本株式積極運用型	2001年5月1日	145.88640297	△1.89%	5.49%	22.03%	39.02%	21.18%	71.00%	45.89%
米国株式型	1986年12月1日	1,960.74066561	4.37%	16.99%	33.90%	47.85%	54.77%	95.18%	1860.74%
欧州株式型	1999年4月1日	270.41065619	3.97%	11.02%	28.35%	35.13%	38.73%	70.48%	170.41%
世界株式型(為替ヘッジなし)	2001年5月1日	331.03780072	3.31%	16.29%	37.55%	50.62%	48.15%	90.17%	231.04%
世界株式型(為替ヘッジあり)	2001年5月1日	248.33509607	4.39%	11.16%	29.21%	41.73%	41.40%	74.03%	148.34%
世界債券型	1999年4月1日	165.50231524	0.02%	0.64%	1.69%	2.96%	4.37%	4.98%	65.50%
金融市場型	1986年12月1日	208.56906310	△0.01%	△0.04%	△0.08%	△0.16%	△0.49%	△0.83%	108.57%
グローバル・バランス型	2001年5月1日	280.06559615	2.22%	7.06%	16.43%	27.67%	32.54%	57.63%	180.07%

※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点をもとに「100」として指数化したものです。

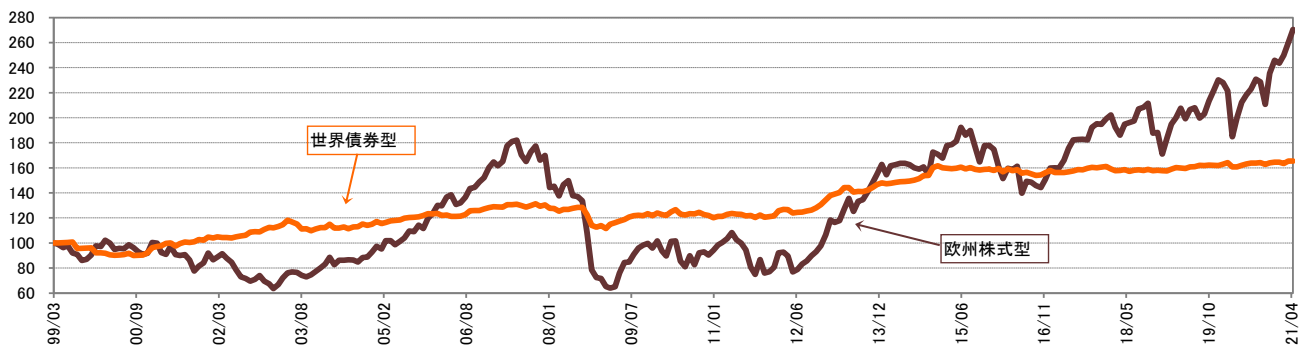
※騰落率は、当月末における、上記各期間のユニット・プライスの変動率を表しています。

#### ・特別勘定のユニット・プライス推移

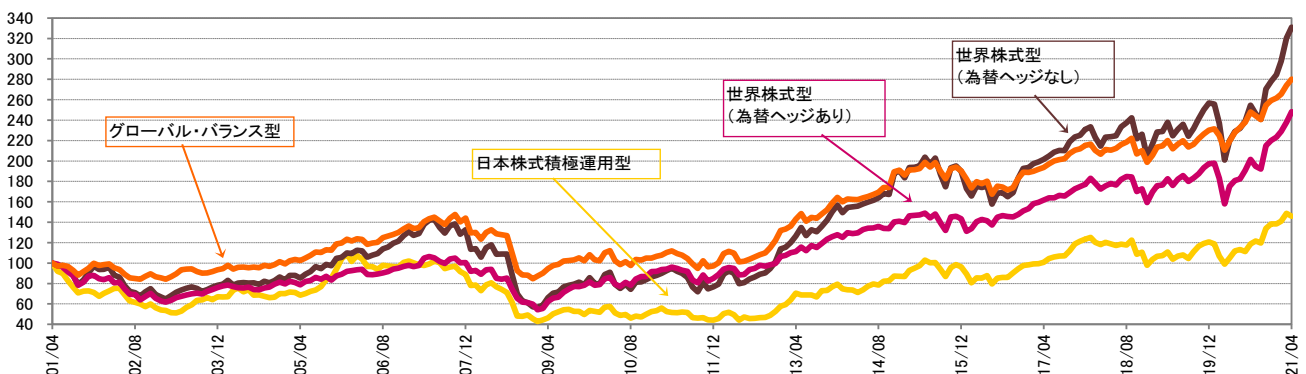
・1986年12月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移(日本株式型/米国株式型/金融市場型)



・1999年4月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移(欧州株式型/世界債券型)



・2001年5月1日に運用を開始した各特別勘定のユニット・プライス推移(日本株式積極運用型/世界株式型(為替ヘッジなし)/世界株式型(為替ヘッジあり)/グローバル・バランス型)



#### ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

・特別勘定資産の内訳

■日本株式型

項目		金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	1,326,068	4.5
投資信託	ラッセル・インベストメント日本株式ファンドI-3(適格機関投資家限定)	105,225	0.4
	HIC日本株バリュー・マルチマネージャーフンド(適格機関投資家専用)	6,473,357	21.8
	アムンディ・ターゲット・ジャパン・ファンド(適格機関投資家専用)	1,764,593	5.9
	Selection Japan Equity Class I	20,085,245	67.5
合計		29,754,487	100.0

p7上段  
p7下段  
p8上段  
p8下段

■日本株式積極運用型

項目		金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	145,956	4.5
投資信託	フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3(適格機関投資家専用)	1,250,405	38.7
	ヒクテ・ニッポン・プレミア・クロス・ファンド(適格機関投資家専用)	1,833,143	56.8
合計		3,229,503	100.0

p9上段  
p9下段

■米国株式型

項目		金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	1,204,316	3.9
投資信託	SELECTION US EQUITY Class I	29,582,894	96.1
合計		30,787,210	100.0

p10上段

■欧州株式型

項目		金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	238,492	4.3
投資信託	RICII Russell Investments Pan European Equity Fund Class B	1,067,807	19.1
	フィデリティ・欧州株・ファンド	4,271,939	76.6
合計		5,578,239	100.0

p10下段  
p11上段

■世界株式型(為替ヘッジなし)

項目		金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	176,122	3.8
投資信託	ラッセル・インベストメント外国株式ファンドI-4B(為替ヘッジなし)(適格機関投資家限定)	3,539,830	77.1
	インテックスファンド海外株式(ヘッジなし)	875,068	19.1
合計		4,591,020	100.0

p11下段  
p12上段

■世界株式型(為替ヘッジあり)

項目		金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	64,904	4.2
投資信託	ラッセル・インベストメント外国株式ファンドI-4A(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定)	901,393	58.0
	インテックスファンド海外株式(ヘッジあり)	587,606	37.8
合計		1,553,902	100.0

p12下段  
p13上段

■世界債券型

項目		金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	412,785	4.2
投資信託	RIC Russell Investments Global Bond Fund Class A	3,503,995	35.4
	グローバル・ボンド・ファンドVA<適格機関投資家専用>	1,882,261	19.0
	ラッセル・インベストメント日本債券ファンドI-1(適格機関投資家限定)	4,107,155	41.5
合計		9,906,196	100.0

p14下段  
p15上段  
p16上段

■金融市場型

項目		金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	403,780	6.0
投資信託	フィデリティ・マネー・ボールVA(適格機関投資家専用)	6,295,941	94.0
合計		6,699,721	100.0

p16下段

■グローバル・バランス型

項目		金額(千円)	比率(%)
	現預金・その他	1,737,255	4.4
投資信託	RICII Russell Investments World Equity Fund Class B	7,588,471	19.2
	グローバル成長株ファンド	11,492,311	29.1
	Architas World ex-Japan Passive Bond Fund Class J	15,312,802	38.8
	グローバル・ボンド・ファンドVA<適格機関投資家専用>	3,315,586	8.4
合計		39,446,426	100.0

p13下段  
p14上段  
p15下段  
p15上段

(注)「p7上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

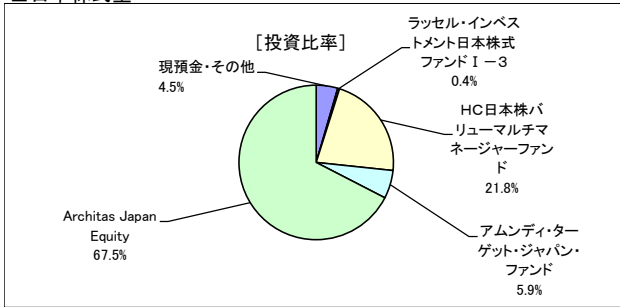
『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

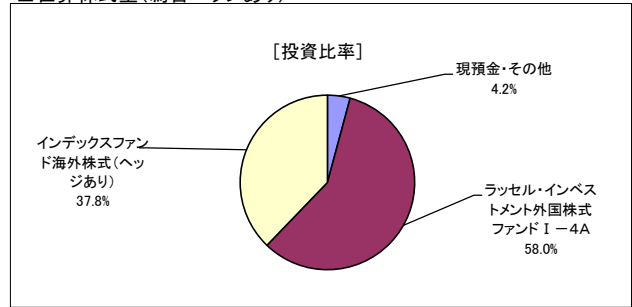
当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

・特別勘定資産の内訳(グラフ)

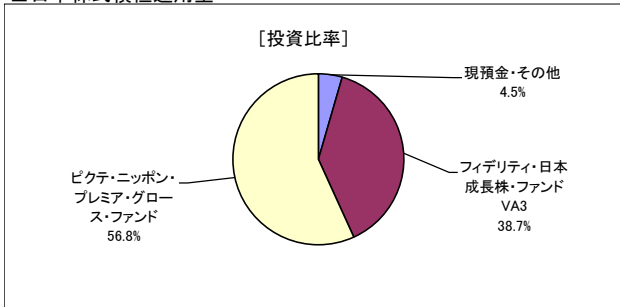
■日本株式型



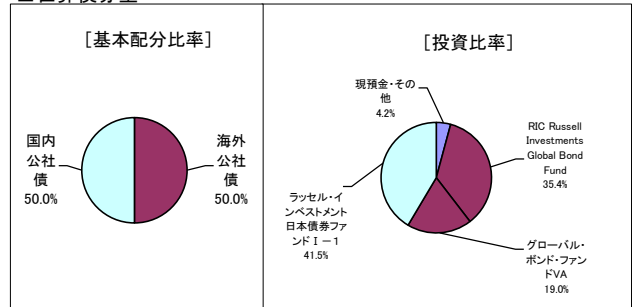
■世界株式型(為替ヘッジあり)



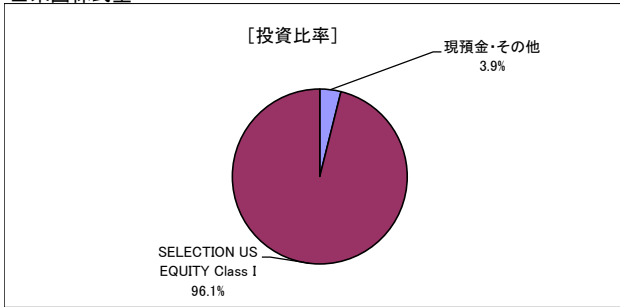
■日本株式積極運用型



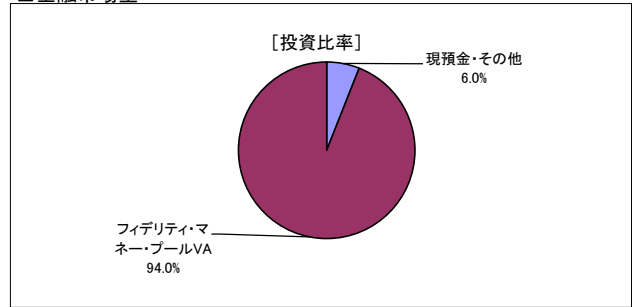
■世界債券型



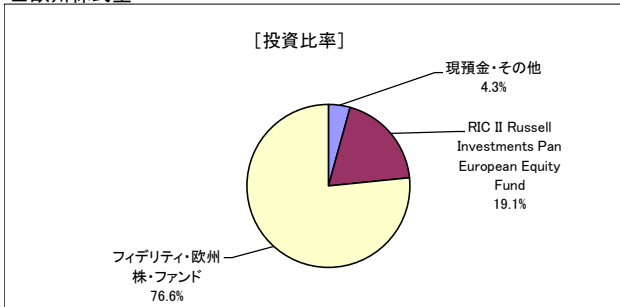
■米国株式型



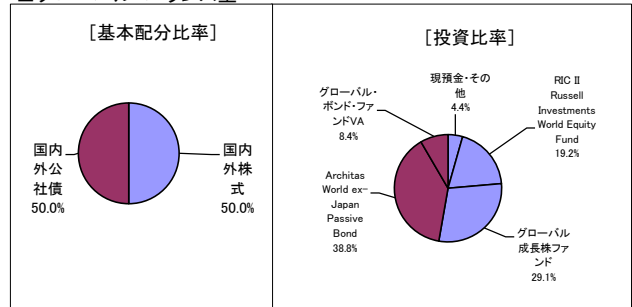
■金融市場型



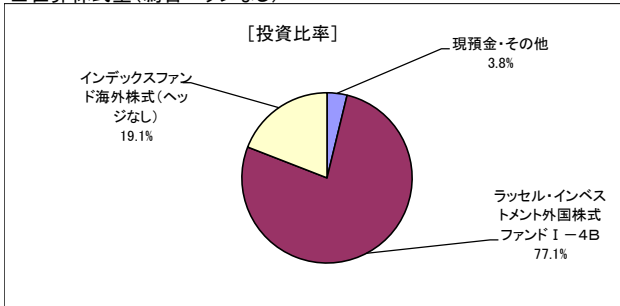
■欧州株式型



■グローバル・バランス型



■世界株式型(為替ヘッジなし)



ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』  
 ■将来の投資成果を保証するものではありません。  
 当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

## 4.各特別勘定で投資している投資信託の運用状況

ラッセル・インベストメント日本株式ファンド-I-3 (適格機関投資家限定)

ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

◆国内の証券取引所に上場されている株式を実質的な主要投資対象とし、トラッキングエラーを抑えながら、ベンチマーク(TOPIX・配当込)を上回る投資成果を目指します。  
◆「ラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド」および指定投資信託証券(インデックス・ファンド)を主要投資対象とします。  
◆複数の運用スタイルと運用会社を採用することにより、ファンド全体でリスクをコントロールしながら、超過収益の獲得を目指します。  
◆「ラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド」では、グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの運用スタイルだけでなく、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。

(出所)  
ラッセル・インベストメント株式会社

ファンドの騰落状況

(2021年4月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	△5.86%	△2.84%
過去3ヶ月	3.11%	5.91%
過去6ヶ月	17.35%	21.48%
過去1年	29.49%	32.34%
過去3年	10.51%	14.61%
設定来	182.18%	190.93%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移 [設定日:2002年9月30日]



ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2021年4月末現在)

■組入上位10業種

業種	比率
情報・通信業	11.2%
電気機器	11.1%
サービス業	8.0%
輸送用機器	6.8%
小売業	6.0%
銀行業	5.4%
卸売業	4.7%
化学	4.4%
機械	4.2%
医薬品	3.8%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率①
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.1%
本田技研工業	輸送用機器	2.0%
武田薬品工業	医薬品	1.9%
ソニーグループ	電気機器	1.8%
リクルートホールディングス	サービス業	1.8%
第一生命ホールディングス	保険業	1.8%
日本製鉄	鉄鋼	1.8%
キーエンス	電気機器	1.8%
日本電信電話	情報・通信業	1.7%
三菱商事	卸売業	1.7%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
RIIS	バリュー型	10%
SOMPOアセットマネジメント[投資助言]*	バリュー型	30%
スパークス[投資助言]*	マーケット・オリエンテッド型	15%
カムイ[投資助言]*	グロース型	10%
アセットマネジメントOne[投資助言]*	グロース型	25%
クープランド・カーディフ[投資助言]*	グロース型	10%

①比率は国内株式評価額合計に占める割合

②数%程度のキャッシュ・エクワイゼーション(流動資金の株式化)部分等を除きます。

\*当該運用会社の投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシズ・エル・エル・シー(RIIS)が運用の指図を行います。

HC日本株バリューマルチマネージャーファンド(適格機関投資家専用)

HCアセットマネジメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

◆主としてファンドへの投資を通じて日本株式に投資し、預かり資産の中長期的な成長をめざして運用を行うことを基本とします。  
◆ファンドオブファンズ方式で運用を行い、運用成果の向上をめざし、ファンドの変更(追加、削除、入替)を必要に応じ行います。

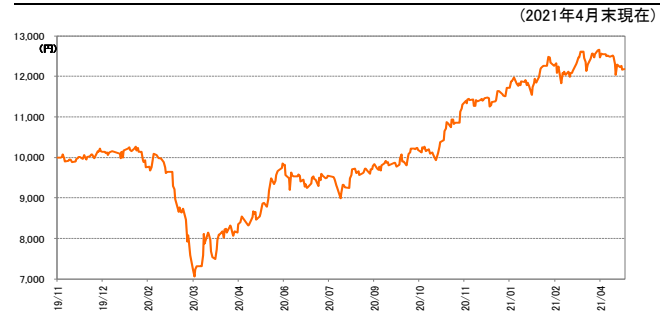
(出所)  
HCアセットマネジメント株式会社

ファンドの騰落状況

(2021年4月末現在)	
	ファンド
過去1ヶ月	△3.05%
過去3ヶ月	3.47%
過去6ヶ月	20.83%
過去1年	45.13%
過去3年	-
設定来	21.75%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

基準価額の推移 [設定日:2019年11月8日]



ポートフォリオの状況 (2021年4月末現在)

組入比率	
コムジエスト日本株式ファンド	49.6%

■組入上位5業種

業種	比率
資本財・サービス	25.6%
一般消費財・サービス	22.1%
情報技術	14.5%
ヘルスケア	14.2%
生活必需品	11.4%

■株式組入上位5銘柄

銘柄	比率
コーセー	4.2%
ファーストリテイリング	4.1%
日本電産	4.0%
リクルートホールディングス	3.9%
FOOD & LIFE COMPANIES	3.7%

組入比率	
りそな国内株式リサーチαファンド	50.4%

■組入上位5業種

業種	比率
電気機器	18.4%
化学	10.4%
情報・通信業	9.0%
機械	7.9%
小売業	7.4%

■株式組入上位5銘柄

銘柄	比率
味の素	2.4%
薬田工業	2.3%
カシオ計算機	2.3%
東京エレクトロン	2.3%
ダイセキ	2.3%

※組入上位5業種並びに株式組入上位5銘柄の比率は、各ファンドのマザーファンドでの対純資産比率です。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。



当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

ファンドの特色等

◆企業の資産価値や収益力等から算出される投資価値と比較した株価の割安度(バリュウ)に着目した銘柄選択を行い、更に株主価値の増大を図る余力があると思われる銘柄を厳選し投資します。  
◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「アムンディ・ターゲット・ジャパン・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2021年4月末現在)	
ファンド	騰落率
過去1ヶ月	△4.17%
過去3ヶ月	4.00%
過去6ヶ月	10.75%
過去1年	16.90%
過去3年	△5.17%
設定来	309.87%

基準価額の推移 [設定日:2003年11月18日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2021年4月末現在)

■市場別構成比率

市場	比率
東京一部	88.2%
東京二部	2.9%
JASDAQ	1.3%
その他市場	0.2%
現金・その他	7.3%
合計	100.0%

■組入上位10業種

業種	比率
機械	11.5%
電気機器	10.5%
化学	10.3%
建設業	10.1%
輸送用機器	7.9%
その他製品	7.4%
卸売業	5.5%
食料品	4.4%
医薬品	4.1%
保険業	3.7%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
ミライト・ホールディングス	建設業	3.7%
東海理化電機製作所	輸送用機器	2.7%
EIZO	電気機器	2.3%
芝浦機械	機械	2.3%
上組	倉庫・運輸関連業	2.3%
フジッコ	食料品	2.0%
MS&ADインシュアランスグループホールディングス	保険業	2.0%
日本化薬	化学	1.9%
アイダエンジニアリング	機械	1.9%
大正製薬ホールディングス	医薬品	1.9%

(出所)  
アムンディ・ジャパン株式会社

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率をいいます。

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率をいいます。

Selection Japan Equity Class I

Architas Multi-Manager Europe Limited

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式型特別勘定

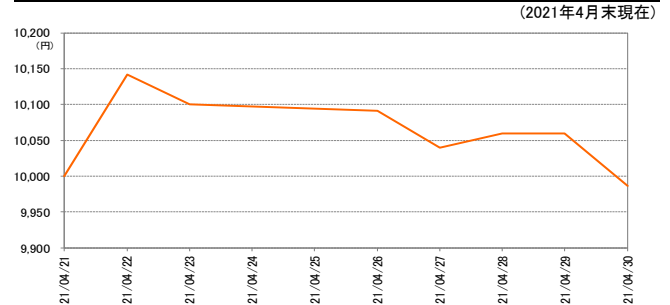
ファンドの特色等

◆当ファンドは、積極的な分散投資のポートフォリオによる長期的な元本の増大を目的として運用を行います。  
◆当ファンドは、その純資産価額の3分の2以上を、日本を本拠地とする、または日本の規制市場で上場、値付けもしくは取引されている株式に投資することにより、その目的を達成することを目指します。

ファンドの騰落状況

(2021年4月末現在)	
ファンド	騰落率
過去1ヶ月	-
過去3ヶ月	-
過去6ヶ月	-
過去1年	-
過去3年	-
設定来	△0.14%

基準価額の推移 [設定日:2021年4月21日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況 (2021年4月末現在)

■組入上位5業種

業種	比率
Consumer, Cyclical	21.95%
Industrial	21.90%
Consumer, Non-cyclical	16.21%
Financial	14.98%
Communications	10.12%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	比率
TOYOTA MOTOR CORP	2.16%
SONY GROUP CORP	1.91%
SUMITOMO MITSUI FINANCIAL GROUP	1.59%
ORIX CORP	1.54%
BRIDGESTONE CORP	1.42%
SOFTBANK CORP	1.40%
HAZAMA ANDO CORP	1.38%
TAKEDA PHARMACEUTICAL CO LTD	1.22%
KDDI CORP	1.22%
STAR ASIA INVESTMENT CORPORATION	1.16%

(出所)  
Architas Multi-Manager Europe Limited

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式積極運用型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆わが国の証券取引所に上場(これに準ずるものを含みます)されている株式を主要な投資対象とします。
- ◆TOPIX(配当込)をベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- ◆個別企業分析により、成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行います。
- ◆個別企業分析にあたっては、ポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・日本成長株・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2021年4月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	△2.38%	△2.84%
過去3ヶ月	2.02%	5.91%
過去6ヶ月	16.86%	21.48%
過去1年	39.96%	32.34%
過去3年	25.25%	14.61%
設定来	208.09%	156.78%

基準価額の推移 [設定日:2001年11月29日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■市場構成比率

(2021年3月末現在)	
市場	比率
東証一部	97.0%
東証二部	0.4%
JASDAQ	0.1%
その他市場	0.9%

■組入上位5業種

(2021年3月末現在)	
業種	比率
電気機器	24.3%
機械	12.8%
情報・通信業	8.9%
化学	8.9%
卸売業	6.9%

■株式組入上位10銘柄

(2021年3月末現在)		
銘柄	業種	比率
ミスミグループ本社	卸売業	4.5%
三浦工業	機械	3.8%
キーエンス	電気機器	3.8%
リクルートホールディングス	サービス業	3.7%
ジノ	輸送用機器	3.2%
オリンパス	精密機器	2.8%
小糸製作所	電気機器	2.2%
マキタ	機械	2.1%
東京エレクトロン	電気機器	2.1%
TDK	電気機器	2.0%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(出所)  
フィデリティ投信株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

日本株式積極運用型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆わが国の証券取引所に上場(これに準ずるものを含む)に上場されている株式に投資を行います。
- ◆組入銘柄の選択に当たっては、企業のファンダメンタルズ分析を重視し、成長性と株価を相対評価して行います。また、変革を実行できる企業と経営者、利益成長の源泉が明確な企業に焦点を当て、企業訪問を重ね丹念に調査し、徹底した銘柄選択で運用します。
- ◆特定の株価指数(東証株価指数、日経平均株価など)にとらわれず運用します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2021年4月末現在)	
	ファンド
過去1ヶ月	△1.69%
過去3ヶ月	8.44%
過去6ヶ月	27.79%
過去1年	41.81%
過去3年	19.71%
設定来	168.30%

基準価額の推移 [設定日:2002年5月30日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2021年4月末現在)

■市場別上位組入比率

市場	比率
東証1部	99.0%
---	---
---	---
---	---
---	---

■組入上位5業種

業種	比率
電気機器	21.8%
機械	9.3%
情報・通信業	9.2%
小売業	8.0%
輸送用機器	7.8%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
トヨタ自動車	輸送用機器	4.1%
日立製作所	電気機器	2.8%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.4%
日本電信電話	情報・通信業	2.4%
信越化学工業	化学	2.3%
キーエンス	電気機器	2.0%
ソニーグループ	電気機器	1.8%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.8%
三井不動産	不動産業	1.8%
デンソー	輸送用機器	1.8%

※組入比率は実質比率(マザーファンドの組入比率×マザーファンドにおける当該資産の組入比率)です。

(出所)  
ピクテ投信投資顧問株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

米国株式型特別勘定

ファンドの特色等

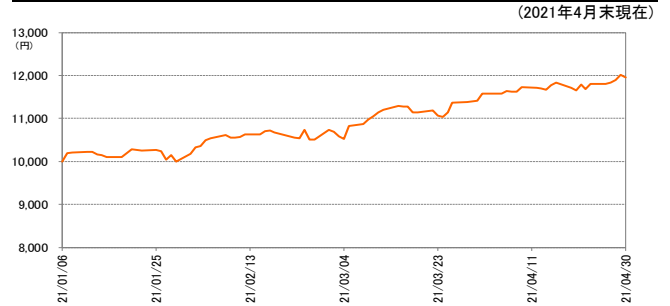
◆当ファンドは、積極的な分散投資のポートフォリオによる長期的な元本の増大を目的として運用を行います。  
 ◆当ファンドは、その純資産価値の3分の2以上を、米国を本拠地とする、または米国の規制市場で上場、値付けもしくは取引されている株式に投資することにより、その目的を達成することを目指します。

ファンドの騰落状況

(2021年4月末現在)	
	ファンド
過去1ヶ月	4.73%
過去3ヶ月	19.58%
過去6ヶ月	-
過去1年	-
過去3年	-
設定来	19.57%

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したもとして計算しています。

基準価額の推移 [設定日:2021年1月6日]



ポートフォリオの状況 (2021年4月末現在)

■組入上位5業種

業種	比率
Information Technology	22.53%
Communication Services	16.39%
Financials	14.67%
Health Care	14.05%
Consumer Discretionary	12.83%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	比率
Alphabet Inc	4.83%
AMAZON.COM INC	4.23%
MICROSOFT CORP	3.75%
Liberty Broadband Corp	2.65%
Berkshire Hathaway Inc. B	2.53%
APPLE INC	1.77%
Costco Wholesale Corp	1.56%
Bristol Myers Squibb Company	1.54%
Comcast Corp	1.53%
FACEBOOK INC	1.47%

(出所)  
Architas Multi-Manager Europe Limited

当ファンドに投資している特別勘定

欧州株式型特別勘定

ファンドの特色等

◆欧州株式を主要投資対象とし、ベンチマーク(MSCI Europe Index)を上回ることを目標として運用を行います。  
 ◆複数の運用スタイルと運用会社を採用するとともに、国別配分やセクター配分、規模別配分はベンチマークから大きく乖離しないようにコントロールし、主に銘柄選択により超過収益の獲得を目指します。  
 ◆当ファンドは、アイルランド国籍のユーロ建投資信託です。

ファンドの騰落状況

(2021年4月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	1.85%	2.07%
過去3ヶ月	13.04%	11.43%
過去6ヶ月	35.77%	29.00%
過去1年	39.80%	30.16%
過去3年	17.08%	20.39%
設定来	84.83%	105.89%

※騰落状況はユーロベースで計算しており、基準価額の推移もユーロベースで表記しています。

基準価額の推移 [設定日:2000年11月14日]



ポートフォリオの状況

■株式組入上位10銘柄

銘柄	国名	業種	比率
Roche Holding AG	スイス	ヘルスケア	1.9%
ASML Holding NV	オランダ	情報技術	1.7%
Rexel SA	フランス	資本財・サービス	1.4%
Epiroc AB Class A	スウェーデン	資本財・サービス	1.3%
Novartis AG	スイス	ヘルスケア	1.3%
Sanofi SA	フランス	ヘルスケア	1.2%
Novo Nordisk A/S Class B	デンマーク	ヘルスケア	1.1%
Stellantis NV	オランダ	一般消費財・サービス	1.0%
AstraZeneca plc	イギリス	ヘルスケア	1.0%
Rio Tinto plc	イギリス	素材	1.0%

■外部委託会社

運用会社	運用スタイル	目標配分
Invesco	マーケット・オリエンテッド型	15.0%
Liontrust	マーケット・オリエンテッド型	15.0%
Numeric	マーケット・オリエンテッド型	25.0%
Pzena	ハリー型	15.0%
Russell Investments	ポジション戦略型	15.0%
Berenberg	グロース型	15.0%

(出所)  
Russell Investments Ireland Limited

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

欧州株式型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆英国および欧州大陸の証券取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式を主要な投資対象とします。
- ◆個別企業分析により、優良企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行います。
- ◆個別企業分析にあたっては、フィデリティ・グループの欧州および世界主要金融拠点のアナリストによる企業調査結果を活かし、現地のポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。
- ◆MSCIヨーロッパ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)をベンチマークとします。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・欧州株・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況		
(2021年4月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	4.38%	3.55%
過去3ヶ月	10.52%	15.55%
過去6ヶ月	26.15%	39.78%
過去1年	33.62%	46.96%
過去3年	49.17%	22.42%
設定来	282.88%	163.64%

基準価額の推移 [設定日:1998年4月1日] (2021年4月末現在)



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■組入上位5カ国・地域 (2021年3月末現在)

国・地域	比率
イギリス	19.2%
ドイツ	19.0%
オランダ	14.3%
フランス	11.7%
スイス	9.5%

■組入上位5業種 (2021年3月末現在)

業種	比率
資本財・サービス	26.4%
ヘルスケア	20.3%
情報技術	19.6%
一般消費財・サービス	11.8%
生活必需品	9.8%

■株式組入上位10銘柄 (2021年3月末現在)

銘柄	国・地域	業種	比率
ノルディスク	デンマーク	ヘルスケア	4.8%
プロサス	オランダ	一般消費財・サービス	4.8%
SAP	ドイツ	情報技術	4.3%
ワールドライン	フランス	情報技術	3.6%
インフィニオンテクノロジーズ	ドイツ	情報技術	3.4%
エクスヘリアン	ジャージー	資本財・サービス	3.0%
LVMHモエヘネシー・ルイ・ヴィトン	フランス	一般消費財・サービス	2.9%
ブリティッシュ・アメリカン・タバコ	イギリス	生活必需品	2.6%
メルク	ドイツ	ヘルスケア	2.5%
グリフォルス	スペイン	ヘルスケア	2.5%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(出所) フィデリティ投信株式会社

ラッセル・インベストメント外国株式ファンドI-4B(為替ヘッジなし)(適格機関投資家限定)

ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジなし)特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI・配当込み)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆グロース型、バリュウ型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況		
(2021年4月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	3.17%	4.07%
過去3ヶ月	17.51%	16.81%
過去6ヶ月	40.72%	36.35%
過去1年	54.72%	50.56%
過去3年	50.94%	53.96%
設定来	396.02%	407.58%

基準価額の推移 [設定日:2003年11月18日] (2021年4月末現在)



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2021年4月末現在)

■地域別構成比率

地域	比率
北米地域	67.2%
ユーロ地域	10.1%
ユーロ除く欧州	12.0%
その他	10.7%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	比率①
TAIWAN SEMICONDUCTOR	TWD	2.5%
Microsoft Corp.	USD	2.4%
ALPHABET INC-CL C	USD	1.7%
Roche Holding AG	CHF	1.6%
FACEBOOK INC-A	USD	1.6%
Wells Fargo & Co.	USD	1.6%
Johnson & Johnson	USD	1.5%
Apple Inc.	USD	1.5%
MasterCard Inc.	USD	1.4%
ALPHABET INC-CL A	USD	1.4%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
フィエラ[投資助言]*	グロース型	14.5%
モルガン・スタンレー[投資助言]*	グロース型	14.5%
サンダース[投資助言]*	バリュウ型	17.0%
ブジーナ[投資助言]*	バリュウ型	17.0%
ニューメリック[投資助言]*	マーケット・オリエンテッド型	16.0%
RIIS	ポートフォリオ特性補強型	21.0%

①比率は株式評価額合計に占める割合  
②数%程度のキャッシュ・エクイタイズーション(流動資金の株式化)部分等を除きます。  
\*当該運用会社の投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インフラメンテーション・サービス・エル・エル・シー(RIIS)が運用の指図を行います。

(出所) ラッセル・インベストメント株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジなし)特別勘定

ファンドの特色等

◆世界の主要国の株式市場の動きを捉えることを目標に、MSCI-KOKUSAIインデックス(円ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。  
◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI(ヘッジなし)マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2021年4月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	4.63%	4.55%
過去3ヶ月	15.27%	14.87%
過去6ヶ月	34.78%	34.23%
過去1年	48.34%	46.94%
過去3年	49.45%	44.02%
設定来	265.56%	190.99%

基準価額の推移 [設定日:2001年10月17日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したもとして計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2021年4月末現在)

■組入上位10カ国

国名	比率
アメリカ	69.76%
イギリス	4.33%
カナダ	3.52%
フランス	3.39%
スイス	3.25%
ドイツ	3.00%
オーストラリア	2.22%
アイルランド	1.91%
オランダ	1.83%
スウェーデン	1.10%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	国名	比率
APPLE INC	アメリカ	4.26%
MICROSOFT CORP	アメリカ	3.40%
AMAZON.COM INC	アメリカ	2.78%
FACEBOOK INC-CLASS A	アメリカ	1.49%
ALPHABET INC-CL C	アメリカ	1.35%
ALPHABET INC-CL A	アメリカ	1.35%
TESLA INC	アメリカ	0.96%
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	0.89%
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	0.81%
VISA INC-CLASS A SHARES	アメリカ	0.75%

(出所)  
日興アセットマネジメント株式会社

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

ラッセル・インベストメント外国株式ファンドI-4A(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定)

ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジあり)特別勘定

ファンドの特色等

◆日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI・配当込み、円ヘッジ・円ベース)を上回ることを目標として運用を行います。  
◆グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。  
◆原則として為替ヘッジを行います。  
◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2021年4月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	4.03%	4.58%
過去3ヶ月	12.68%	11.92%
過去6ヶ月	33.16%	28.66%
過去1年	46.64%	43.09%
過去3年	44.94%	48.92%
設定来	264.14%	306.00%

基準価額の推移 [設定日:2003年11月18日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したもとして計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)(2021年4月末現在)

■地域別構成比率

地域	比率
北米地域	67.2%
ユーロ地域	10.1%
ユーロ除く欧州	12.0%
その他	10.7%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	比率①
TAIWAN SEMICONDUCTOR	TWD	2.5%
Microsoft Corp.	USD	2.4%
ALPHABET INC-CL C	USD	1.7%
Roche Holding AG	CHF	1.6%
FACEBOOK INC-A	USD	1.6%
Wells Fargo & Co.	USD	1.6%
Johnson & Johnson	USD	1.5%
Apple Inc.	USD	1.5%
MasterCard Inc.	USD	1.4%
ALPHABET INC-CL A	USD	1.4%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分②
フィエラ[投資助言]*	グロース型	14.5%
モルガン・スタンレー[投資助言]*	グロース型	14.5%
サンダーズ[投資助言]*	バリュー型	17.0%
ブジーナ[投資助言]*	バリュー型	17.0%
ニューメリック[投資助言]*	マーケット・オリエンテッド型	16.0%
RIIS	ポートフォリオ特性補強型	21.0%

①比率は株式評価額合計に占める割合  
②数%程度のキャッシュ・エクイティ・ポジション(流動資金の株式化)部分等を除きます。  
\*当該運用会社の投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インフラストラクチャー・サービス・エル・エル・シー(RIIS)が運用の指図を行います。

(出所)  
ラッセル・インベストメント株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

世界株式型(為替ヘッジあり)特別勘定

ファンドの特色等

◆世界の主要国の株式市場の動きを捉えることを目標に、MSCI-KOKUSAIインデックス(円ヘッジあり・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。  
◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI(ヘッジあり)マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況		
(2021年4月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	5.47%	5.38%
過去3ヶ月	10.22%	10.01%
過去6ヶ月	27.23%	26.96%
過去1年	40.43%	39.52%
過去3年	44.69%	39.59%
設定来	182.21%	127.84%

基準価額の推移 [設定日:2001年10月17日] (2021年4月末現在)



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2021年4月末現在)

■組入上位10カ国

国名	比率
アメリカ	70.47%
イギリス	4.22%
カナダ	3.40%
フランス	3.31%
スイス	3.13%
ドイツ	2.92%
オーストラリア	2.17%
アイルランド	1.85%
オランダ	1.79%
スウェーデン	1.04%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	国名	比率
APPLE INC	アメリカ	4.11%
MICROSOFT CORP	アメリカ	3.29%
AMAZON.COM INC	アメリカ	2.69%
FACEBOOK INC-CLASS A	アメリカ	1.44%
ALPHABET INC-CL C	アメリカ	1.31%
ALPHABET INC-CL A	アメリカ	1.30%
TESLA INC	アメリカ	0.93%
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	0.86%
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	0.79%
VISA INC-CLASS A SHARES	アメリカ	0.72%

(出所)  
日興アセットマネジメント株式会社

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

当ファンドに投資している特別勘定

グローバル・バランス型特別勘定

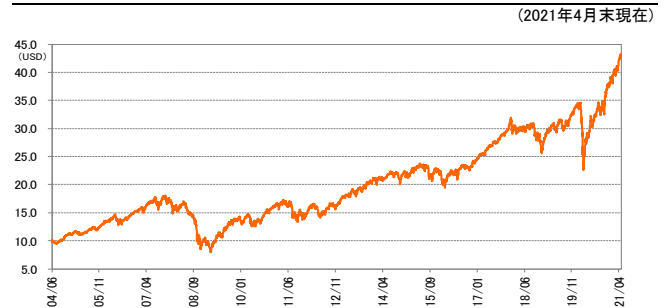
ファンドの特色等

◆世界各国の株式を主要投資対象とし、ベンチマーク(MSCI World Index)を上回ることを目標として運用を行います。  
◆複数の運用会社を採用することにより、超過収益の源泉の分散を図ります。  
◆当ファンドは、アイルランド国籍の米ドル建投資信託です。

ファンドの騰落状況

(2021年4月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	4.04%	4.65%
過去3ヶ月	12.61%	10.91%
過去6ヶ月	31.64%	29.10%
過去1年	48.10%	45.33%
過去3年	43.81%	48.54%
設定来	324.73%	297.42%

基準価額の推移 [設定日:2004年6月24日]



※騰落状況は米ドル・ベースで計算しており、基準価額の推移も米ドル・ベースで表記しています。

ポートフォリオの状況

■地域別構成比率

(2021年3月末現在)	
地域	比率
US & Canada	64.8%
Europe ex United Kingdom	15.9%
Japan	7.3%
United Kingdom	4.7%
Asia Pacific ex-Japan	3.1%
Emerging Markets	2.3%
Unclassified	1.8%

■株式組入上位10銘柄

(2021年3月末現在)			
銘柄	国名	業種	比率
Microsoft Corp.	米国	情報技術	2.9%
Apple Inc.	米国	情報技術	2.5%
Amazon.com, Inc.	米国	一般消費財・サービス	1.8%
Alphabet Inc. Class A	米国	コミュニケーション・サービス	1.7%
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	台湾	情報技術	1.7%
Facebook, Inc.	米国	コミュニケーション・サービス	1.4%
Johnson & Johnson	米国	ヘルスケア	1.3%
Alphabet Inc. Class C	米国	コミュニケーション・サービス	1.3%
UnitedHealth Group, Inc.	米国	ヘルスケア	1.2%
Roche Holding AG	スイス	ヘルスケア	1.0%

■外部委託会社 (2021年4月末現在)

運用会社	運用スタイル	目標配分
JO Hambro	マーケット・オリエンテッド型	9.0%
Nissay	ハリュー型	8.0%
Numeric	マーケット・オリエンテッド(ハリュー・ハイアス)型	12.0%
Sanders	ハリュー型	15.0%
CouplandCardiff	グロース型	5.0%
Invesco	マーケット・オリエンテッド型	12.0%
Fiera Capital	グロース型	10.0%
Russell Investments	ポジショニング戦略型	20.0%
Wellington	グロース型	9.0%

(出所)  
Russell Investments Ireland Limited

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆マクロ分析によりグローバルな視点から成長力のある業種への重点投資を行ない、さらに国籍に関係なくその業種内で世界的なリーダーとなる企業(市場において主導的シェアを持つブランド展開力、競争上の優位性、将来を見据えた経営および優れた収益成長性等を有する企業)を発掘することにより、ベンチマークを上回る投資成果を追求します。
- ◆MSCIワールド指数(円ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとします。
- ◆運用は「ウェリントン・マネジメント・カンパニー・エルエルピー」に委託します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「Gグローバル/海外株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2021年4月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	5.12%	3.94%
過去3ヶ月	12.03%	13.98%
過去6ヶ月	29.08%	33.11%
過去1年	56.49%	45.86%
過去3年	67.81%	41.08%
設定来	372.19%	190.97%

基準価額の推移 [設定日: 2001年10月2日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2021年4月末現在)

■組入上位5カ国

国名	比率
アメリカ	58.9%
オランダ	6.2%
イギリス	4.6%
日本	4.1%
フランス	3.9%

■株式組入上位10銘柄

銘柄	通貨	業種	比率
AMAZON.COM INC	アメリカドル	小売	5.1%
ALPHABET INC-CL C	アメリカドル	メディア・娯楽	4.5%
FACEBOOK INC-CLASS A	アメリカドル	メディア・娯楽	3.6%
PAYPAL HOLDINGS INC	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	2.3%
MASTERCARD INC	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	2.2%
SALESFORCE.COM INC	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	2.0%
T-MOBILE US INC	アメリカドル	電気通信サービス	2.0%
BLACKSTONE GROUP INC/THE -A	アメリカドル	各種金融	1.9%
AMERICAN EXPRESS CO	アメリカドル	各種金融	1.8%
GELNEX TELECOM SA	ユーロ	電気通信サービス	1.7%

(出所)  
日興アセットマネジメント株式会社

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

RIC Russell Investments Global Bond Fund Class A

Russell Investments Ireland Limited

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定

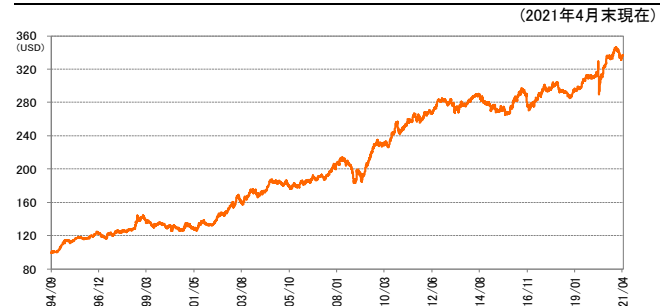
ファンドの特色等

- ◆世界の公社債を主要投資対象とし、ベンチマーク(Bloomberg Barclays Global Aggregate)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、国別配分、通貨配分、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。
- ◆当ファンドは、アイルランド国籍の米ドル建投資信託です。

ファンドの騰落状況

(2021年4月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	1.27%	1.26%
過去3ヶ月	△2.18%	△2.39%
過去6ヶ月	0.80%	△0.17%
過去1年	6.85%	3.95%
過去3年	12.34%	11.81%
設定来	235.16%	235.62%

基準価額の推移 [設定日: 1994年9月30日]



※騰落状況は米ドル・ベースで計算しており、基準価額の推移も米ドル・ベースで表記しています。

ポートフォリオの状況

■セクター別構成比 (BM対比)

(2021年3月末現在)	
セクター	比率
国債・現金	△ 11.5%
エマージング債(現地通貨)	△ 8.1%
政府保証債	△ 6.8%
社債	△ 1.1%
証券化商品	△ 0.6%
エマージング債(国際通貨)	1.5%
その他	26.5%

■格付け別構成比(BM対比)

(2021年3月末現在)	
格付け	比率
AAA・現金	12.5%
AA	△ 10.3%
A	△ 8.8%
BBB	△ 1.2%
その他	7.7%

■外部委託会社

(2021年4月末現在)		
運用会社	運用スタイル	目標配分
BlueBay	金利・一般債重視型	26.0%
Schroder	セクター(資産担保証券)特化型	13.0%
Western	セクター(クレジット)特化型	28.0%
Russell Investments	ポジション戦略(通貨・金利型)	33.0%

(出所)  
Russell Investments Ireland Limited

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定

グローバル・バランス型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆世界各国の公社債に分散投資します。
- ◆FTSE世界国債インデックス(円ヘッジなし)をベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- ◆原則として為替ヘッジは行いません。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「FS日本債券マザーファンド」および「FS海外高格付け債マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2021年4月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	0.02%	0.06%
過去3ヶ月	0.05%	0.90%
過去6ヶ月	1.00%	2.71%
過去1年	2.38%	4.04%
過去3年	7.83%	9.83%
設定来	68.70%	96.16%

基準価額の推移 [設定日:2002年8月1日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況 (2021年4月末現在)

■国別構成比率上位5カ国

国名	比率
アメリカ	27.04%
日本	14.41%
ドイツ	9.95%
フランス	7.78%
イタリア	6.16%

■通貨別構成比率上位5通貨

通貨	比率
ユーロ	39.93%
米ドル	27.04%
日本円	14.41%
英ポンド	4.30%
豪ドル	3.75%

■債券組入上位10銘柄

銘柄	通貨	償還日	クーポン	格付け	比率
アメリカ国債	USD	2025/4/30	0.375	AAA	11.58%
アメリカ国債	USD	2022/2/28	1.125	AAA	5.17%
日本国債	JPY	2025/6/20	2.100	A+	3.85%
アメリカ国債	USD	2027/4/30	0.500	AAA	3.63%
フランス国債	EUR	2023/3/25	0.000	AA	3.28%
ドイツ国債	EUR	2022/10/7	0.000	AAA	3.20%
オーストラリア国債	AUD	2027/11/21	2.750	AAA	3.12%
アメリカ国債	USD	2050/5/15	1.250	AAA	2.82%
日本国債	JPY	2027/3/20	2.100	A+	2.75%
アメリカ国債	USD	2040/8/15	3.875	AAA	2.73%

※各比率は、投信の純資産総額に対する比率です。

(出所)

アバディーン・スタンダード・インベストメンツ株式会社

Architas World ex-Japan Passive Bond Fund Class J

Architas Multi-Manager Europe Limited

当ファンドに投資している特別勘定

グローバル・バランス型特別勘定

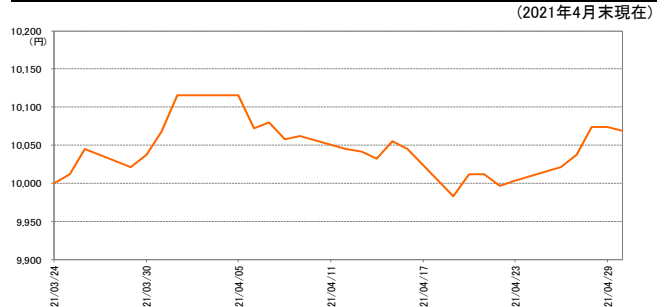
ファンドの特色等

- ◆元本およびインカム収入の両方を考慮したトータルリターン(報酬および費用控除前)を投資家に提供することを目指します。
- ◆ベンチマークはFTSE 世界国債インデックス(除く日本)で、ベンチマークに連動した運用成果を目指します。
- ◆純資産価額の100%を上限として、日本を除く世界各国が発行する国債(政府機関債・地方債含む)に投資します。

ファンドの騰落状況

(2021年4月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	0.01%	0.03%
過去3ヶ月	-	-
過去6ヶ月	-	-
過去1年	-	-
過去3年	-	-
設定来	0.69%	0.74%

基準価額の推移 [設定日:2021年3月24日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況 (2021年4月末現在)

■組入上位5カ国

国	比率
UNITED STATES	44.29%
FRANCE	10.51%
ITALY	9.54%
GERMANY	7.58%
BRITAIN	6.46%

■格付け別構成比

格付け	比率
AAA	52.78%
AA	15.79%
A	1.76%
BBB	14.10%
BB or Lower	0.00%
Not Rated	15.36%

(出所)

Architas Multi-Manager Europe Limited

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。



当ファンドに投資している特別勘定

世界債券型特別勘定

ファンドの特色等

- ◆日本の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(NOMURA-BPI総合指数)を上回ることを目標として運用を行います。
- ◆複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2021年4月末現在)		
	ファンド	ベンチマーク
過去1ヶ月	0.16%	0.19%
過去3ヶ月	△0.06%	0.05%
過去6ヶ月	△0.13%	△0.05%
過去1年	△0.74%	△0.86%
過去3年	0.32%	1.26%
設定来	26.83%	31.94%

基準価額の推移 [設定日:2003年11月18日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2021年4月末現在)

■種別構成比

種類	比率
国債	72.3%
地方債	7.6%
政保債	0.0%
金融債	0.0%
事業債	11.3%
円建外債	4.9%
MBS	3.0%
ABS	0.0%
その他	1.0%

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分
アセットマネジメントOne	広範囲型	50%
ウエスタン	広範囲型	50%

※比率および目標配分はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

(出所)  
ラッセル・インベストメント株式会社

当ファンドに投資している特別勘定

金融市場型特別勘定

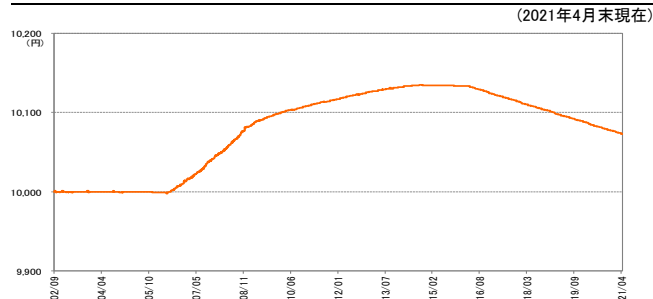
ファンドの特色等

- ◆本邦通貨表示の公社債等を主要な投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
- ◆ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「フィデリティ・マネー・プール・マザーファンド」を主要投資対象とします。

ファンドの騰落状況

(2021年4月末現在)	
	ファンド
過去1ヶ月	△0.01%
過去3ヶ月	△0.03%
過去6ヶ月	△0.06%
過去1年	△0.11%
過去3年	△0.35%
設定来	0.73%

基準価額の推移 [設定日:2002年9月20日]



※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものと計算しています。

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

■ポートフォリオ・プロフィール

(2021年3月末現在)	
平均残存日数	-
平均残存年数	-

■格付別構成比

(2021年3月末現在)		
格付		比率
長期債券格付	AAA/Aaa	-
	AA/Aa	-
	A	-
短期債券格付	A-1/P-1	-
	A-2/P-2	-
現金・その他		100.0%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

■債券組入上位10銘柄

(2021年3月末現在)		
銘柄	格付	比率
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-

(出所)  
フィデリティ投信株式会社

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

## 5. 投資している投資信託の運用会社のご紹介

### アバディーン・スタンダード・インベストメンツ株式会社

英国スコットランドを拠点とし、ロンドン証券取引所に上場するスタンダード・ライフ・アバディーン plcは、2017年にスタンダード・ライフ plc とアバディーン・アセット・マネジメント PLC が合併して誕生した金融企業です。その資産運用部門を担うスタンダード・ライフ・インベストメンツとアバディーン・アセット・マネジメントは、「アバディーン・スタンダード・インベストメンツ」ブランドのもとに統合され、英国では最大級のアクティブ運用会社、グローバルでも世界有数のインベストメント・ハウスとなりました。世界25カ所に広がる資産運用拠点到1,000名以上の運用スタッフを擁するグローバルな運用ネットワークで、お客様の投資目標の達成をサポートします。

### アムンディ・ジャパン株式会社

アムンディ・ジャパン株式会社は、パリに本拠を置き、運用資産額で欧州No.1<sup>※1</sup>、世界トップ10<sup>※1</sup>の資産運用会社の一つであるアムンディの日本拠点であり、世界6都市の主要運用拠点（ボストン、ダブリン、ロンドン、ミラノ、パリ、東京）の一つです。グループのネットワークを存分に活かし、堅実かつ信頼のおけるパートナーとして、約50年にわたり日本のみならず世界のお客様に価値ある資産運用サービスをご提供しています。  
※1インベストメント・ペンション・ヨーロッパによる資産運用会社トップ400社（2020年6月版、2019年12月末の運用資産額）に基づく。

### HCアセットマネジメント株式会社

HCアセットマネジメント株式会社はプロフェッショナルな投資家の皆様へ向け、投資機会の調査、資産・戦略の選択、運用会社・ファンドの選定を行い、ポートフォリオ管理のプラットフォームを提供して参りました。  
大手自動車メーカー、総合商社等の企業年金が顧客の7割近くを占めているほか、生命保険会社、信用金庫等の金融機関、大学からも資産運用を受託しており、資産運用に関する高度な要求水準を有するプロフェッショナル投資家の方々から、創業以来高い評価を獲得しております。

### 日興アセットマネジメント株式会社

日興アセットマネジメント株式会社は、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用やETF（上場投資信託）を含むバシンプ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。  
60年に及ぶ実績を誇り、約30の国・地域から集まる人材を世界11カ国・地域に擁し、資産を運用しています。グローバルな視点を活かし、お客様のニーズにお応えする様々な商品開発を推進するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を常に追求しています。

### フィデリティ投信株式会社

委託会社であるフィデリティ投信株式会社は、FILリミテッドの実質的な子会社です。  
FILリミテッドは世界有数の資産運用会社として、アジア太平洋、欧州、中近東、南アメリカにおいて、投資家向けにさまざまなアセットクラスを網羅する投資商品や、リタイアメント・ソリューションを提供しています。

### ラッセル・インベストメント・グループ

ラッセル・インベストメント グループは、年金、金融機関および個人など様々な投資者のみなさまを対象に、グローバルに総合的な資産運用ソリューションを提供しています。  
グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理など幅広く業務を行っております。  
当グループの創立は1936年。米国ワシントン州シアトルを本拠地とします。

### Architas Multi-Manager Europe Limited

Architas Multi-Manager Europe Limitedは、AXA S.A.の完全子会社であるArchitas Limitedの完全子会社です。アクサは1817年にフランスで生まれ、世界57の国と地域、約1億800万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。

### ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を1/18ページに掲載していますので、必ずご参照下さい』

■ 将来の投資成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

この資料は、特別勘定の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【引受保険会社】  
アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
TEL 0120-933-399  
アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

【お問い合わせ先】